

北海道天売高校 連絡船

第7号



今年度を振り返って 校長 上田 智史



平成29年度は、島外からの新生入生2名を迎えてのスタートでした。3年生が欠学年のなか2年生3名がリーダーシップを発揮しながら、5名の全校生徒が絆を深め、お互いを思いやりながら力を合わせて仕事も

学校生活もしっかりと送っていました。

卒業式のない3月でしたが、春には新生入生を迎え、久しぶりに全学年がそろふこととなります。在校生に後輩の面倒をしっかりみて欲しいと伝えたとこ、「大丈夫です。任せてください。」という力強い言葉が返ってきました。

島外からの生徒募集を開始して3年目になりますが、一人の中途退学者も出さずにここまで来ていることを何より嬉しく思っています。今までの教師生活のなかで、生徒が途中で学校を去る場面を経験してきていますが、何ともやりきれない思いに駆られます。もう少しやれたことがあったのではないかと。生徒の気持ちに本当の意味で寄り添えなかったのではないかと。無念さがよみがえります。

島外から入学してきた生徒は、今まで経験したことのない離島での生活を決意し、天売高校で頑張るという覚悟を持って来ています。この生徒たちをしっかりと受け止めて、これからの社会を担う人として育て、卒業まで導いていくことが私たち教職員の役割であると伝えてきました。生徒が全員主人公である天売高校で学び、自信を持ちながら大きく成長していく姿を見て、教育の原点が天売高校にはあると実感しています。

ここまでに生徒募集推進協議会をはじめ、地域の方々のご支援のもとに天売高校の教育活動を進めることができましたことに対しあらためてお礼申し上げます。これからも歴史と伝統のある天売高校が力強く発展していくために、引き続き皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



校内レク・球技大会

～今年度も盛り上がりました～

12月19日に校内レク・第2回球技大会が行われました。2年生が中心となって企画を考え、当日の運営を行いました。校内レクでは、ひもくじを使ってプレゼント交換をし、その後は2チームに分かれ、定番SHOWやお絵かき伝言ゲームで大いに盛り上がりました。球技大会では校内レクと同じチームでバスケットボールとフットサル、ミニバレーボールで試合を行いました。1年生を2年生がしっかりとサポートしたこともあり、スムーズに進行し、楽しく終わることができました。



天売学「天売の未来」 ～これからの天売について～

10月28日、11月25日に天売学「未来Ⅰ」「未来Ⅱ」として授業を行いました。この1年間天売学で学習した内容を元に、発表原稿とプレゼンテーション用のスライドの作成をしました。1年生2名と2年生3名は、それぞれ「自然」「観光」「産業」「歴史」を担当し、講義で学んだことに自分の考察や自分達で調べたことに主張を加えてまとめました。

12月9日「未来Ⅲ」では、地域住民を招いて発表会を行いました。1年生2名の発表は、「観光」をテーマとして、2人の個性が出るような天売観光の提案がありました。2年生は「自然」ではオロロン鳥の保護対策、マイクロプラスチックの海鳥への影響について、「産業」では天売の基幹産業である漁業について、特に武蔵堆で行われているマグロ漁についての発表がありました。「歴史」では過去の広報誌などを参考にしながら、天売と焼尻の病院・学校・発電所・電話等の歴史を振り返った発表が行われました。

受講した島民の方々からは「生徒一人一人の個性が良く出ていた。高校生ならではの発想、アイデアがたくさんみられました。天売の良さをもっともっと引き出して下さい。」などの感想が寄せられ、天売島の今後の発展について考察する良い機会となりました。



今年度の活動を通して 地域おこし協力隊 西井香南



関西から天売に来て約一年が経ちました。休暇で向こうに帰ると、慣れ親しんでいた関西弁を喋る人たちを見て、「うわ！本物の関西弁だ！」と思うようになりました。普段の生活で関西弁を聞く機会がないので、すっかり関西弁ノンネイティブのような感覚になったようです。

関西弁って話しているだけですごい勢いがあるように聞こえるようです。よく言われる関西人のイメージがよくわかりました。それはあまりイメージが良くないはずだと納得しました。

環境を変えるとという事は、それほど人に変化をもたらすものだとこんなポイントで感じる事ができました。環境によっていい影響も、あまりよくない影響も、自然にその人に入って行くのだと思います。天売高校でも、在校生、新入生にとって何かより良い影響を与える環境であれるよう、少しでも力添えできればと思います。

楽しい理科実験教室

～不思議なことを学びました～

2月24日(土)、学校開放講座「楽しい理科実験教室」を本校教諭の岩田あゆみを講師として実施しました。天売中学校の藤原先生をはじめ他の先生方も来ていただき、参加した小中学生たちとともに簡単な理科の実験を行いました。

1つ目は煮干しの解剖実験を行いました。家庭でよく使われる小さな煮干しですが、脳や心臓、腸などはっきりみることができます。見つけにくい器官はみんな一生懸命探していました。2つ目は1円玉を水に浮かべ水の表面張力を試す実験を行い、3つ目はダイラタンシー現象を試す実験を行いました。ある割合で片栗粉と水を混ぜ合わせ、力を加えると固体のように振る舞う液体ができます。参加した小中学生は不思議な液体を何度も触って、科学現象を楽しんでいるようでした。実験を通して科学に興味をもっていただけると嬉しいです。



体協大会の開催

～今年度初の競技もありました～

11月12日に体協バドミントン大会、12月2日に体協卓球大会、1月21日に体協ミニバレー大会、2月10日に体協テニポン大会が開催されました。今年度も多くの島民の方が参加し、どのチームも優勝目指して全力でプレーしていました。

テニポン大会は今年度が初開催ながらも多くの参加者が集まり、とてもレベルの高い大会となりました。シングルス2組、ダブルス1組の団体戦形式で行われ、白熱したラリーの応酬が繰り広げられました。

どの大会も接戦に次ぐ接戦の結果、バドミントン大会、ミニバレー大会は愛好会Aチーム、卓球大会はチームなぎと、テニポン大会は富樫学級チームの優勝となりました。



転出者挨拶

～2名の先生方が転出されます～

上田 智史 校長

在籍2年 教科：体育

転出先：釧路北陽高等学校



新米校長として2年間天売高校にお世話になりました。

生まれ育った留萌管内であり、教師生活をスタートさせた羽幌町での勤務でしたので、顔見知りも多く、懐かしい風景を見ながら、帰ってきた気持ちになりました。天売島では、教え子や同級生と再会することができ、人との縁を感じながら、やりがいのある、あつという間の2年間でした。

赴任の際に同じ船に乗っていた宮地君と話したことを思い出します。礼儀正しく、しっかりした印象を持ちました。「これから一緒に頑張ろうな。」と話したと思います。本当にここまでよく頑張っています。何よりも生徒がたくましく成長していく姿を見ることができ、天売高校の良さを実感しました。本来であれば卒業まで見届けたかったです。

春からは3名の新入生を迎え、全学年が揃います。新しい学生寮での生活も始まります。いろいろなことがあってもお互いを思いやり、プラス思考で乗り越えていって欲しいと思います。いつまでも応援しています。

本当にお世話になりました。

さようなら天売高校。ありがとう天売高校。

久保田 哲也 教諭

在籍3年 教科：保健体育

転出先：根室高等学校



私が小学生だった頃に、旅行で訪れた天売島。15年以上もの時を経て教員として赴任が決まった時には不思議な「縁」を感じました。いざ赴任すると、思い出がよみがえり童心に帰った気持ちで過ごすことができました。天売島では3年間過ごしましたが、何事にも一生懸命取り組む天高生、それを応援して下さる島民の方々。まさに、天売高校は「島の学校」であり、天高生は「島の宝」なのだと感じる日々でした。転勤で天売島を離れますが、天売高校の活躍と天売島の発展を遠い所からではありますが見守っています。こんなに温かい人に囲まれて過ごした3年間は忘れません。ありがとうございました。